

ひとにやさしいまちづくり推進指針の改訂について

1 ひとにやさしいまちづくり推進指針の改訂

現在の推進指針の期間が平成 27 年度から 31 年度までとなっていることから、平成 31 年度中に推進指針の改訂を行う予定としています。

改訂にあたっては、現指針による取組状況について検証を行い、県の各種計画（県総合計画、県地域福祉支援計画、福祉分野の各計画等）との整合を図り、震災からの復興やユニバーサルデザインによる復興まちづくりなど、前回策定時からの状況の変化を踏まえ、ひとにやさしいまちづくりの取組がさらに進むような内容となるよう、改訂作業を進める予定です。

〔平成 31 年度 指針改訂に係る主なスケジュール〕（予定）

4 月	ひとにやさしいまちづくり推進指針検討委員会設置
5～9 月	ひとにやさしいまちづくり推進指針検討委員会による検討（3～4 回程度）
8 月	第 1 回ひとにやさしいまちづくり推進協議会開催（検討状況報告）
11 月	県議会 12 月定例会への報告（改訂の趣旨、改訂案概要）
12～1 月	パブリックコメント、地域説明会開催
1 月	第 2 回ひとにやさしいまちづくり推進協議会開催（検討状況報告）
2 月	県議会 2 月定例会に議案提案（改訂案）
3 月	改訂・公表

（参考）前回改訂時のひとにやさしいまちづくり推進指針検討委員会構成員

○ 民間委員 9 名

所属等	職名	氏名
岩手県立大学社会福祉学部	社会福祉学科長（教授）	狩野 徹
社会福祉法人いちご会障がい者相談支援事業所「百万石」	所長	大信田 康統
一般社団法人ランプアップいわて	代表理事	松嶺 貴幸
特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ	会長	小野 仁志
カシオペア連邦はーとふる発見隊	隊長	小田島 行伸
特定非営利活動法人アクセシブル北上	副理事長	高橋 俊肥考
両磐地域まちづくり探検隊	隊長	神崎 浩之
特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット	事務局次長	加藤 伸二
社会福祉法人岩手県社会福祉協議会	福祉経営支援部副部長	斎藤 穰

○行政委員 11 名（県関係室課）

政策地域部地域振興室、保健福祉部長寿社会課、障がい保健福祉課、子ども子育て支援課、
県土整備部道路環境課、都市計画課、建築住宅課、商工労働観光部観光課、
復興局まちづくり再生課、国体・障がい者スポーツ大会局障がい者スポーツ大会課、
教育委員会事務局学校教育室

2 改訂の方向性

（1）前回の改訂時の視点

- ア 東日本大震災津波の経験を踏まえ、復興まちづくりにおけるひとにやさしいまちづくりの取組を促進すること
- イ 平成 28 年希望郷いわて国体、希望郷いわて大会の開催を契機とした、公共的施設のユニバーサルデザイン化や人材の育成などを促進すること
- ウ 平泉の世界遺産登録や国際リニアコライダーの誘致活動による国際化の進展

（2）今回改訂の主な視点

- いわて県民計画との整合性
- 人口減少、少子高齢化の一層の進展
- 東日本大震災津波からの復興推進
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした取組
（国のユニバーサルデザイン 2020 行動計画）
- 心のバリアフリー・心のユニバーサルデザインの推進
- バリアフリー法の改正
（公共交通事業者等によるハード・ソフト一体的な取組の推進、バリアフリーのまちづくりに向けた地域における取組強化（市町村がバリアフリーの方針を定める「マスタープラン制度」の創設など）
- 観光のバリアフリー化
- 国際化の進展
- 性的少数者・性自認（LGBT）に対する理解 等